

令和4年7月7日

お知らせ

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
内容が変更になる場合があります。

京都市文化市民局
〔 担当 元離宮二条城事務所 〕
〔 TEL (075) 841-0096 〕

「二条城障壁画 展示收藏館」原画公開 令和4年度第2期

松 鷹

～ 将軍の武勇を示す障壁画 ～

元離宮二条城では、「二条城障壁画 展示收藏館」において、年4期にわたり二の丸御殿障壁画（重要文化財）の原画を公開しております。この度、第2期原画公開「松鷹 ～将軍の武勇を示す障壁画～」の開催について詳細が決まりましたので、お知らせします。今回は、二の丸御殿の中で最も知名度が高い松鷹図を展示します。天井に届く二本の松を描く〈大広間〉四の間北側画面は、修理後初公開です。是非、この機会に二条城へお越しください。

1 会期

令和4年7月14日（木）～9月11日（日）〔60日間〕

2 入館時間

午前9時～午後4時30分（閉館は午後4時45分）

※ 二条城の入城受付は、午後4時まで。

3 会場

元離宮二条城内 二条城障壁画 展示收藏館

（京都市中京区二条通堀川西入二条城町541番地）

※ 二条城にお越しの際は、公共交通機関を御利用ください。

4 入館料

100円（未就学児無料）

※ 別途入城料が必要です（令和4年6月1日より入場料等の料金が改定されました。詳細は、HPをご覧ください）。

※ 市内に在住・在学の小中学生、市内在住の70歳以上の方（敬老乗車証等で住所、年齢を確認できる方）、各種障害者手帳等をお持ちの方については、入館料を徴収しません。

5 公開作品

(1) 〈大広間〉四の間障壁画《松鷹図（まつたかず）》（障壁画面数：28面）

《松鷹図（まつわしず）》（障壁画面数：2面）

(2) 解説及び見所 裏面のとおり

6 お問合せ先

京都市文化市民局元離宮二条城事務所

〔 〒604-8301 京都市中京区二条通堀川西入二条城町541番地 〕
〔 TEL：(075) 841-0096 FAX：(075) 802-6181 〕

松 鷹

～将軍の武勇を示す障壁画～

二の丸御殿の中心に位置し、公式の対面所を備える〈大広間〉の壁面には、天井近くまで届く大きな松が描かれます。対面所となる一の間から三の間に対して、四の間は裏側の間ですが、その面積は〈大広間〉の中で最大を誇ります。四の間に描かれる松は、画面を埋め尽くすかのように配置されることによって、二の丸御殿の中でも随一の力強さと豪華さを示しているのです。今回、展示収蔵館では初公開となる四の間の北側壁面には、前後に生える二本の松が、画面の大部分を覆うように描かれています。これらの松に負けないくらいの存在感を示すのが、実物よりも大きく描かれた鷹や鷲です。猛禽類を飼い慣らして行う鷹狩は、古来権力者たちによって行われました。日本では武家の台頭とともに、鷹狩が武家の間でも盛んになり、鷹の絵も愛好されるようになりました。中でも、二条城を築城した徳川家康（1543-1616）が鷹狩を好んだことは有名です。また、徳川幕府は、鷹狩を統制し、幕府の支配体制を維持する手段の一つとしました。勇猛な鷹の姿は、将軍の武勇と徳川幕府の権力を象徴していると捉えることができるのです。

四の間の《松鷹図》の筆者については、〈大広間〉の他の部屋と同様に狩野探幽（1602-74）とする説と、狩野山楽（1559-1635）とする説がありましたが、二条城では、杉戸絵等の調査を進めた結果、平成 31 年度から、山楽説を採っています。その判断の根拠の一つとなったのが、今回、展示収蔵館では初公開となる〈大広間〉西廊下の《松鷲図》杉戸絵との違いでした。この鷲のポーズは、四の間南側の鷹と共通していますが、その描き方にはいくつもの相違点があります。今回、これらの画面を並べて展示していますので、ぜひ解説を参照しつつ見比べていただき、両者の違いを見つけてみてください。



〈大広間〉四の間障壁画《松鷹図》部分



〈大広間〉廊下杉戸絵《松鷲図》部分